

<2019年度 ハローオリンピズム事業>
オリンピック教室

実施報告書

埼玉県 鶴ヶ島市立西中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業



※学校の通常の授業時間をベースに実施
 ※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

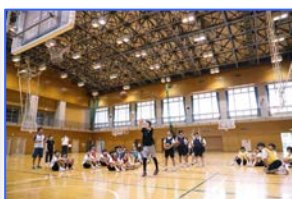
まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実 施 内 容

■期 日 : 2019年11月26日 (火)

■ク ラ ス : 2年2組 (41名)

■オリンピアン : 中川 真依 先生 (水泳/飛込み) 【出場オリンピック/北京大会、ロンドン大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、飛び込み競技というものを知っているか生徒に問い掛け、今日は皆と一緒に授業を通してオリンピックバリューについて学び、感じてもらいたいと話し、準備運動に移る。
- ・準備体操として、ストレッチ、タッチ鬼を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・8の字跳び(90秒×3回)を2班毎3チームで実施。引っ掛かっても続きから数える。毎回ごとにより多く跳ぶ為に対戦タイムで話し合う。
- ・最後にクラス全体で全員跳びにチャレンジした。

4. まとめ



- ・皆お互いをよく見て協力したり、チームワークができていたと生徒を称え、それを日常生活にも繋げてほしいと話した。この運動の時間ではゲームに取り組みながら「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」という3つのオリンピックバリューについて感じてもらったと思うが、詳しくは座学の時間に説明すると予告し、授業終了。

■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・オリンピックシンボルを描いてみよう話し、その意味について解説。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、一生懸命頑張る、あきらめない」、「フレンドシップ＝友情、お互いを理解する、仲間、協力」、「リスペクト＝敬意/尊重、フェアプレー、感謝」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：運動の時間を振返って感じたことをオリンピックバリュー当てはめて考えてみよう。
- 発表：「3回跳べるまで挑戦した」「諦めなかった」「一生懸命取り組んだ」(エクセレンス)
 「うまく跳べなかった仲間をサポートした」「励まし合いながらできた」「チーム内で協力して取り組めた」(フレンドシップ)
 「縄を回してくれた仲間へ感謝」「相手チームに拍手できた」「リーダーのフォローに感謝」「オリンピック教室をしてくれた先生に感謝」(リスペクト)

4. まとめ



- ・今日のオリンピック教室でオリンピックバリューを学んでもらったが、普段の生活の中にも見つけることができるので、今後様々なことに挑戦をするときにオリンピックバリューを意識しながら努力してほしいと伝え、授業終了。

実施内容

■期 日 : 2019年11月26日 (火)

■ク ラ ス : 2年1組 (41名)、2年3組 (41名)

■オリンピアン : 上田 藍 先生 (トライアスロン) 【出場オリンピック/北京大会、ロンドン大会、リオデジャネイロ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介し、今日の運動では3種目のリレーに取り組んでトライアスロンというものを体験してもらいたいと話し、種目の切り替え(トランジション)が第4の種目と言われるくらい重要だと伝え、この切り替えも体験してほしいと話し、準備運動に移る。
- ・準備体操として、ストレッチと2種目リレーを実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・トライアスロンリレー (1組 : 1回、3組 : 2回) を実施。1人が3種目を行う班対抗リレーを実施。ドリブル、縄跳びとクラスで決めた種目 (1組 : ぐるぐるカラーコーン、3組 : 片足ケンケンを順番に行い、次の人にリレーする。作戦タイムを設け、より速いタイムが出せるように話し合う。

4. まとめ



- ・今日はトライアスロンの醍醐味であるトランジションという、種目の切り替えを皆に経験してもらったと伝え、楽しく取り組むことができたかを確認。座学の時間は「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」という3つのオリンピックバリューについて詳しく説明すると予告し、授業終了。

■ 授業のながれ： 座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・トライアスロン競技について、ルールや試合の流れについて解説。現在東京2020大会を目指して練習に励んでいること等について話す。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くす、一生懸命頑張る、諦めない」、「フレンドシップ＝友情、お互いを理解する、チームワーク、仲間、思いやり」、「リスペクト＝敬意/尊重、ルールを守る、フェアプレー、感謝」と説明。

3. グループワーク



発問：日常生活で感じるオリンピックバリューを書き出そう。

発表：「ベストを尽くす」「満足できる努力をする」「自主練する」「一生懸命取り組んで悔いを残さない」「練習からベストを尽くす」(エクセレンス)
「体育祭で皆で力を合わせて優勝した」「チームのムードが悪い時の声かけ」「お互いを理解する」(フレンドシップ)
「部活の試合で応援してくれた人に感謝」「お互いを尊重しoneteamになれた」「対戦相手に感謝」「いただきますが言える環境に感謝」(リスペクト)

4. まとめ



- ・オリンピックはアスリートだけの大会というイメージがあるかもしれないが、オリンピック教室を通して、皆の身近にもオリンピックバリューを見出せることを理解してもらえたとと思う。皆が夢や目標を持った時にオリンピックバリューを思い出し、人間性を磨きながら歩いてほしい。
- ・東京2020大会のトライアスロンの試合は東京・お台場で行われるのでぜひ応援に来てほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 集合写真
2年3組



■ 記念品贈呈
2年1組



2年3組



2年2組



■ 修了証贈呈

